

神居古潭 魔神伝説AR整備事業 仕様書

1 目的

本業務は、内閣府「アイヌ政策推進交付金」を活用して旭川市が実施する神居古潭整備事業の一環として、神居古潭に伝わるアイヌの魔神伝説に関連する4つのスポットにAR（拡張現実）コンテンツを整備し、来訪者がエリアを回遊しながら魔神伝説全体のストーリーを体験できる環境を構築することを目的とする。

このことにより、地域のアイヌ文化への理解・関心の喚起、神居古潭のイメージ回復や観光資源としての価値向上を図り、神居古潭及びアイヌ文化が構成要素となっている別紙の日本遺産「カムイと共に生きる上川アイヌ」及び「大雪山カムイミンタラジオパーク構想」の取組推進に資するものとする。

2 履行期間

契約日から令和9年3月31日まで

（参考）想定する事業全体スケジュール

- ・令和8年度：AR基盤整備、制作
- ・令和9年度：一般供用開始、効果検証・システム改修等検討、コンテンツ追加
- ・令和10年度以降：エリア拡大、コンテンツ追加

3 履行場所

旭川市内

4 ARスポットの概要

神居大橋の付近にあった南山商店の跡地に夏・秋限定で設置予定の神居古潭ビジターセンター（名称：KAMUY GATE [仮称]）を出発点とし、来訪者が電動モビリティ等を利用して各スポットを順次巡りながら、持参するスマートフォンを用いて、スポット付近で表示されるARコンテンツにより、魔神伝説について視聴できるストーリー構成とすること。

本業務においてARコンテンツの設置が必要なスポットは以下の4か所とする。（その他スポットの追加も可能）

- ・スポット① 神居岩
魔神伝説の導入・世界観を提示する。
- ・スポット② 魔神ニツネカムイの足跡・刀痕

英雄と魔神の決闘の様子を描く。

・スポット③ 築^{やな}柵

コタンの住人（ペニウクル）の生活や魔神伝説との関係を描く。

・スポット④ 魔神の頭・胴体

英雄神サマイクルによる魔神討伐の場面を中心に、伝説のクライマックスを演出する。

※関連スポットの現地写真、参考資料及びドローン空撮映像URLは別紙のとおり。

※その他本事業に関連するアイヌ文化や神居古潭の歴史等の参考文献（新旭川市史、旭川市史等）は、以下のホームページで閲覧可能である。

旭川市史デジタルアーカイブ『旭川のあゆみ』 ※用語検索も可能

<https://adeac.jp/asahikawa-city/top/03book/index.html>

5 業務内容

受託者は、以下の各号に掲げる業務を一体的かつ誠実に実施しなければならない。

(1) ストーリー構成及び脚本制作

- ・魔神伝説に関する文献調査・フィールド調査を実施し、伝説の真正性を確保したストーリーを新たに構成すること。
- ・神居古潭ビジターセンターを出発点とした利用者の動線を考慮し、スポット①～④の順にストーリーが展開する構成とすること。
- ・各スポットにおけるあらすじ、脚本、台本、絵コンテを作成すること。
- ・ストーリーは伝説の真正性と利用者への伝わりやすさのバランスを重視し、子どもから大人まで楽しめる内容とすること。

(2) キャラクターデザイン制作

- ・以下の主要キャラクターを必ず登場させること。
魔神ニツネカムイ
英雄神サマイクル
山の神ヌプリコロカムイ
- ・さらに、ストーリーの演出上必要に応じてキャラクターを追加すること。
- ・キャラクターデザインの最終決定に当たっては、下記6に定める監修体制の下、アイヌ関係者の承認を得ること。

(3) ARコンテンツの制作

- ・各スポットのARコンテンツとして、アニメーション等を利用し、臨場感のある演出を実現すること。
- ・ナレーションやキャラクターボイス、説明文等を加え、視聴者に魔神伝説の全容が分かりやすく伝わるようにすること。
- ・必要に応じて音楽、効果音を加えてARコンテンツへの没入感を高めること。

- ・委託者が提供するドローン空撮映像は自由に利用して良いこととする。

(4) ARシステム開発・設置

- ・アプリ形式またはブラウザ形式のどちらでも良いこととする。
- ・位置特定やコンテンツ表示の手法は問わないが、原則として各スポットに赴き、スマートフォンのカメラを現地の風景（岩・地形等）に向けることがトリガーとなり、ARコンテンツが表示される方式とすること。
- ・対応するスマートフォンの機種及びOSのバージョンを明示すること。
- ・事前に現地の通信環境を調査・確認し、通信不具合が生じない設計とすること。
- ・利用者がARを表示する際の立ち位置（歩道、安全な場所）を明確に設定し、車道や河川等への危険な立ち入りが生じないよう設計すること。
- ・利用状況の分析ができるアクセス解析機能を実装すること。
- ・ARの利用促進のための工夫（多言語対応、スタンプラリー機能、SNSシェア機能、進捗表示[表示済みスポット数/全スポット数]等）、地域における今後のARの活用方法を積極的に提案すること。

(5) 監修対応・調整業務

下記6に定める監修体制に基づき、以下の対応を確実に行うこと。

- ・ストーリー構成やARコンテンツの監修資料の作成・提出
- ・キャラクターデザイン案の提示・修正対応

(6) 著作権等の知的財産権の整理

- ・キャラクターデザイン、音楽及び音声等の著作物に関する権利の所在を確認、整理すること。
- ・本業務の履行期間中は、委託者が著作物を使用し続けることを認めること。
- ・著作物の二次利用については、本業務の範囲内における広報等に関する場合に限り、委託者が無償で使用できるものとし、本業務の範囲外で使用する場合の使用条件については、別途確認、整理すること。

(7) 現地設置・動作試験

- ・設置物がある場合は、屋外の風雨・紫外線に耐える素材・仕様とし、景観への配慮もすること。
- ・設置物がある場合は、委託者と協議の上で、受託者が敷地の所有者・管理者に対する占用申請等の手続きを適切に行うこと。
- ・AR設置後に現地での動作試験を実施し、全スポットで正常に動作することを確認すること。
- ・動作試験は複数の通信キャリア、端末を利用して行うこと。
- ・動作試験は受託者及び監修者の立会いの下で実施すること。

(8) 操作マニュアルの作成

- ・システムの管理者、利用者用のマニュアルを作成すること。

(9) 保守管理

- ・システムの保守管理を行い、不具合発生時は解消に向け誠実に対応すること。

(10) 作業スケジュール

- ・あらかじめ上記（１）～（１０）の工程表を作成し、委託者と密に連携しながら作業の進捗管理を行うこと。

6 監修体制

ストーリー構成及びキャラクターデザインは、旭川市内に所在するアイヌ団体の監修を受けながら新たに作成すること。監修体制については、委託者、受託者、監修者の三者で協議の上、速やかに体制を構築すること。

- ・監修者：旭川アイヌ協議会又は旭川アイヌ協会から１名以上
- ・監修範囲：ストーリーの真正性、文化的適切性、キャラクターデザイン、セリフ及び用語の表現
- ・適宜、監修記録（議事概要）を作成し、委託者へ提出すること

7 留意事項

- (1) 本業務の実施に当たっては、アイヌ民族の尊厳及び文化的権利を最大限尊重し、不適切な表現、演出を行わないこと。
- (2) 受注者は、第三者の著作権・商標権・肖像権等を侵害しないよう十分に注意し、必要なライセンスを自らの責任で取得すること。
- (3) 利用者の安全確保を最優先とし、利用者の立ち位置・動線設計において歩道外・危険箇所への誘導が生じないようにすること。
- (4) 受託者は、この仕様書で示す業務の全部を一括して第三者に委託してはならない。
業務の一部を第三者に委託しようとするときは、あらかじめ書面にて市の承諾を得なければならない。
- (5) 受託者は、業務完了後、速やかに文書による業務完了報告書を提出すること。
業務完了報告書には以下の成果物を添付すること。
 - ア ARコンテンツ一式
 - イ キャラクターデザイン原画データ一式
 - ウ 現地設置物一式（トリガーマーカー・掲示物等）の内容を記した書類 ※該当ない場合は不要
 - エ 監修記録（議事概要）一式
 - オ 操作マニュアル（管理者用、利用者用）
 - カ 動作試験報告書
 - キ 著作権等の知的財産権についての所在を明記した書類
- (6) 受託者は、業務実施に当たって個人情報保護法、労働安全衛生法、道路法、河川法その他関係法令を遵守すること。
- (7) この仕様書に定めがない事項について疑義が生じた場合は、委託者と協議すること。

美しく厳しい大雪山のふところに、
カムイ〜神〜を見出し共に生きた“上川アイヌ”。
彼らは激流進む奇岩の溪谷に魔神と英雄神の戦いの伝説を残し、
神々への祈りの場として崇めた上川アイヌの聖地には、
クマ笹で葺かれた家などによりコタンを形成し祈りを捧げ続ける。
上川アイヌは「川は山へ遡る生き物」と考え、
最上流の大雪山を最も神々の国に近く、
自然の恵みをもたらす、カムイミントラ〜神々の遊ぶ庭〜として崇拝してきた。
神々と共に生き、伝承してきた上川アイヌの文化は、この大地に今も息づいている。

◆カムイと共に生きる〜上川アイヌ



アイヌ古式舞踊
アイヌの人々は儀礼を通して神との間に良い関係を築いてきた。その儀礼の際には必ず歌(ウボボ)や踊り(リムセ)が神々に捧げられた。

◆上川アイヌの聖地”チノミシリ”嵐山



チノミシリカムイノミ
1年の無事に感謝し、コタンの平和や幸福を願う儀式。火の神・家の神・自然の神に祈りを捧げる。現在、嵐山ではかつての上川アイヌの人々の営みを体験することができる。

◆カムイと共に生きる人々の営み



木彫技術
和人が流入したことにより急激な生活様式の変化に直面した上川アイヌが新たな生業として始めたもの。

▲現代では和人にもその伝統技術が伝承され、熊以外にもさまざまなものがモチーフにされている。

◆カムイミントラに息づくもの



大雪山に息づく植物
上川アイヌの人々と密接な関係にあった大雪山の山々には今なお希少な花々や木々が残っている。



コマクサ
高山植物の女王とも呼ばれる。地上部は小さく花も可憐だが、寒さや強風に大きな耐性を持つ。



チングルマ
高山に広がる低木で春には白い花の、秋には真っ赤な紅葉の絨毯を一面に敷き詰める。



大雪山に息づく動物
豊かな自然を残す大雪山の山々には希少な生物も生息し、さながら楽園の名に相応しい景色となる。

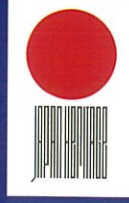


ウスバキチョウ
原始的なアゲハチョウの仲間として知られ、大雪山の中でも標高1,700m以上の高山にしか生息しない。



アサヒヒョウモン
その名は大雪山の最高峰旭岳にちなむ。日本では大雪山にしか生息しない希少種。

日本遺産
って何?



日本遺産とは「地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー」です。
世界遺産などは登録・指定される文化財に価値を認めることで保護することを目的としています。一方、日本遺産は「すでにそこにあるもの」に価値を見出すことが目的です。
これまで点と点だった文化や風習が土地や伝説と結びつき、一つのストーリーを作り出すとき、そこには新たな価値が生まれます。
日本遺産には一つの市町村単位で完結するものも数多くありますが、今回、「カムイと共に生きる上川アイヌ」として認定されたのはシリアル型といい、複数の地域に跨って多くの土地や文化、たくさんの人々に関わるタイプのもので、日本遺産認定を機に、これから周辺町村を交えて数多くの交流が成されることでしょう。それらはこの土地にまた新たに価値ある歴史を刻むはず。

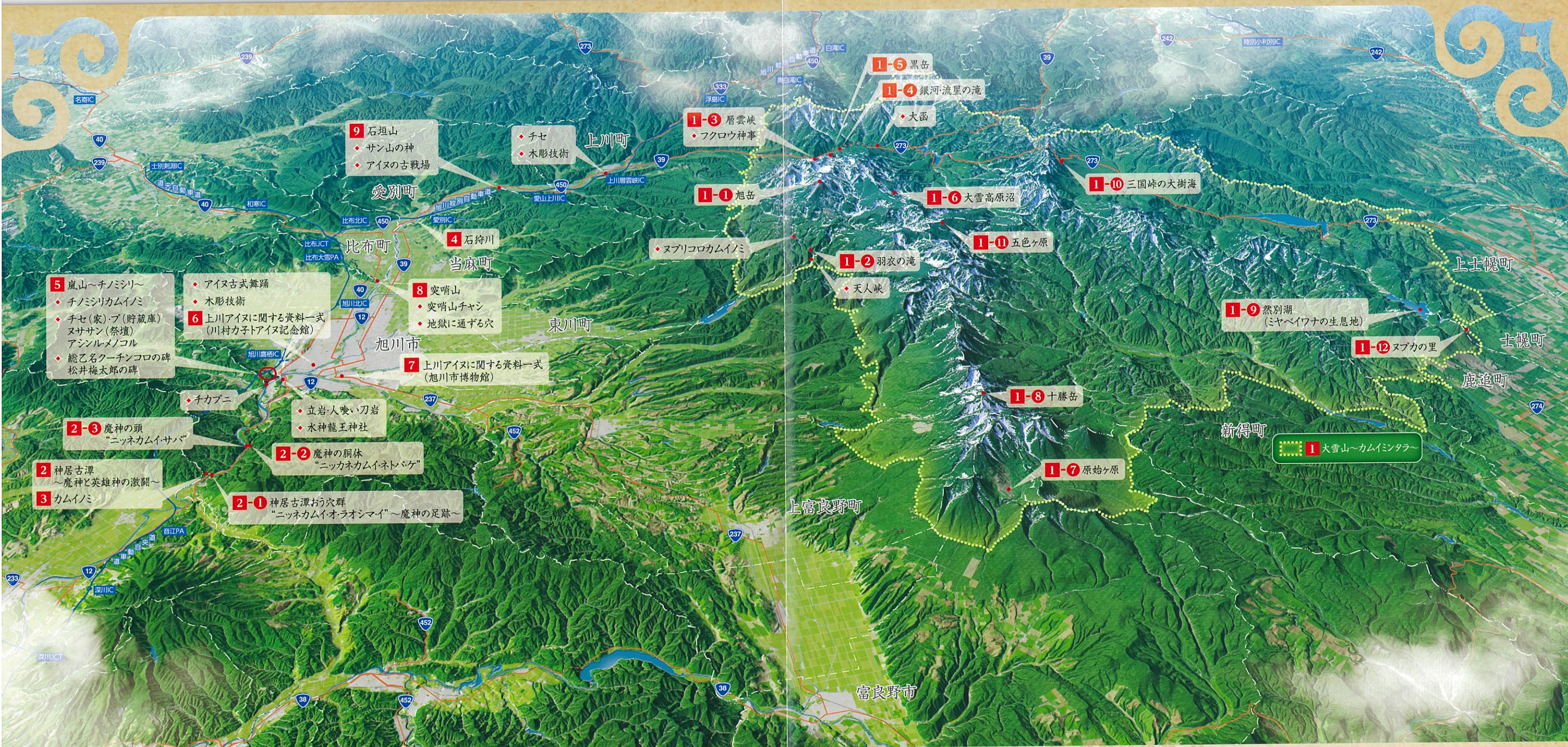
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平成30情使 第72-GISMAP40722号)

お問い合わせ 上川町役場 〒078-1753 上川郡上川町南町180番地 TEL:01658-2-4058

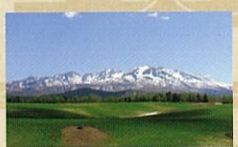


日本遺産 Japan Heritage 認定

認定自治体 上川町/旭川市/富良野市/愛別町/上士幌町/上富良野町/鹿追町/士幌町/新得町/当麻町/東川町/比布町
推進協議会 大雪山麓上川アイヌ日本遺産推進協議会



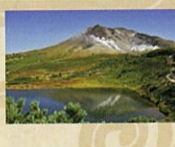
◆ 神々の遊ぶ庭”カムイミントラ”大雪山



大雪山 MAP 1
～カムイミントラ～

万年消えることのない大雪渓、断崖絶壁から落ちる滝、天空を切り取る湖、四季折々に色を変え咲き誇る高山植物。見渡す限り広がる絶景は神々の遊ぶ庭「カムイミントラ」と呼ばれ、崇敬と畏敬の対象であった。

- 富良野市
- 上富良野町
- 上士幌町
- 上川町
- 鹿追町
- 士幌町
- 新得町
- 東川町



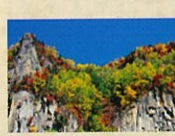
旭岳 MAP 1-1 東川町

大雪山最高峰。アイヌの人々は山頂を神の世界に最も近いと考えた。



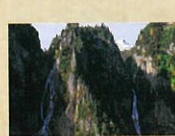
羽衣の滝 MAP 1-2 東川町

落差270m、絶壁を7段に屈折しながら落水する名瀑。複雑な流れが天女の羽衣を思わせる。



層雲峽 MAP 1-3 上川町

アイヌ語の滝のある川が由来とされる景勝地。天高く突き出す奇岩渓谷が約15kmに渡って続く。



銀河・流星の滝 MAP 1-4 上川町

2本の優雅な滝が断崖絶壁の間を寄り添うように流れる。



黒岳 MAP 1-5 上川町

高山植物や壮大な山岳景色で人気の景勝地。秋には燃えるような紅葉が広がる。



大雪高原沼 MAP 1-6 上川町

いくつもの神秘的な沼が広がる高原。静かな湖面には春夏秋冬の景色が映し出される。



原始ヶ原 MAP 1-7 富良野市

原始的な風景がそのまま残る高層湿原。氷河期からの遺存種を見ることがもできる。



十勝岳 MAP 1-8 上富良野町 新得町

360°に広がる広大な景観。多様な高山植物が咲き誇る。



然別湖 MAP 1-9 鹿追町 上士幌町

通称、天空の湖。ここに生息するオショロコマは独特の進化を遂げミヤベイワナと呼ばれる。



三国峠の大樹海 MAP 1-10 上士幌町

眼下に連なる木々の向こうに大雪山の壮大な山岳風景を見渡すことができる。



五色ヶ原 MAP 1-11 新得町

大雪山の秘境中の秘境。標高差350mの高原は広大な花畑を有する。



ヌブカの里 MAP 1-12 士幌町

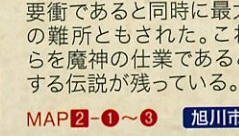
雄大な大雪山を望む高原。多彩な高山植物を間近で満喫することができる。

◆ 神の里”カムイコタン”



カムイノミ
神居古潭を無事に通れるようイナウと呼ばれる木幣を石狩川に捧げる儀式。
MAP 3 旭川市

神居古潭
～魔神と英雄神の激闘～
この土地は、丸木舟を用いて交易を行っていた上川アイヌにとって交通の要衝であると同時に最大の難所ともされた。これらを魔神の仕業であるとする伝説が残っている。
MAP 2-1～6 旭川市



石狩川
上川アイヌはこの川を「山へ遡る生き物」と考えた。
MAP 4 旭川市 比布町 当麻町 愛別町

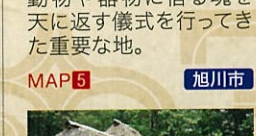


▲魔神が足をとられた跡とされる神居古潭おう穴群

◆ 上川アイヌの聖地”チノミシリ”嵐山



嵐山～チノミシリ～
上川アイヌの人々が古くから聖地として崇拝し、動物や器物に宿る魂を天に返す儀式を行ってきた重要な地。
MAP 5 旭川市



▲上川アイヌ独特のチセ(家)などが今も伝承されている。

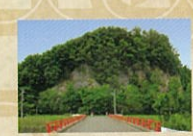
◆ カムイと共に生きる人々の営み



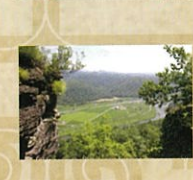
上川アイヌに関する資料一式
(川村カチトアイヌ記念館)
MAP 6 旭川市



上川アイヌに関する資料一式
(旭川市博物館)
MAP 7 旭川市



突哨山
麓に鮭の産卵場所があり漁場だった。
MAP 8 比布町



石垣山
病魔を払う力を持った神がいたとされ古戦場もある。
MAP 9 愛別町

私たちは、大雪山に刻まれた大地の記憶をはじめとした貴重な地質や地形、豊かな動植物、そして育まれてきた文化を守り、次の世代へ“つなぐ”ことを使命としています。

地域の自然を見つめ、学び、守りながら、地球の物語をもっと身近に感じられる場所を目指して—

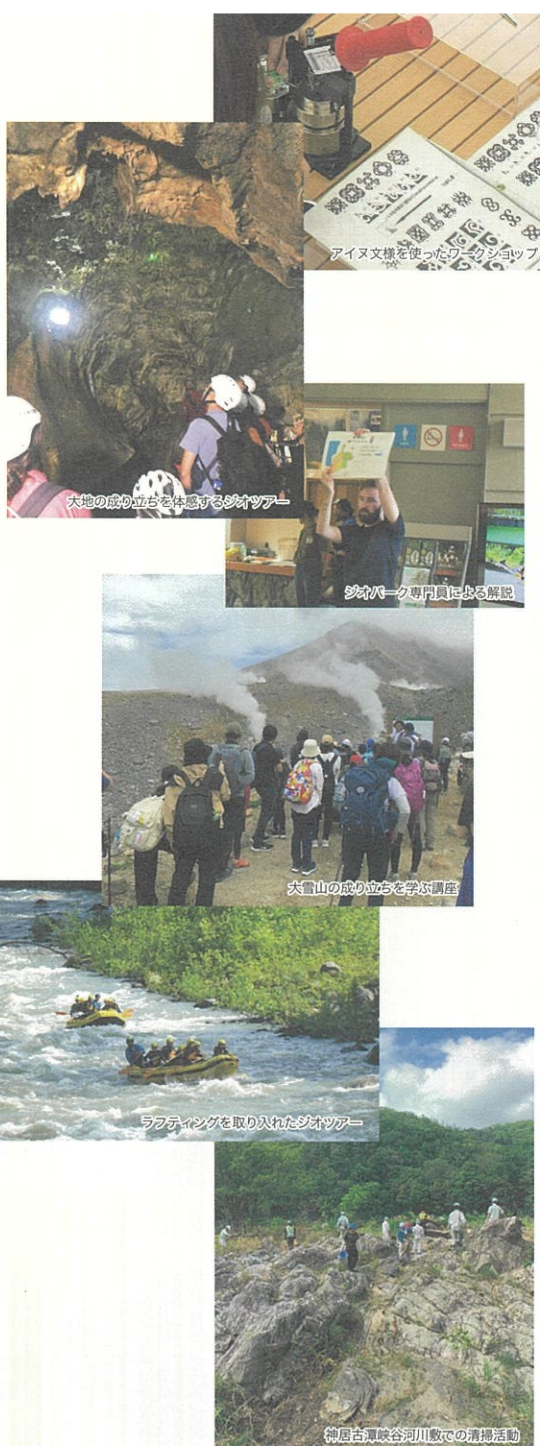
それが、大雪山カムイミントラジオパーク構想の原点です。

大雪山カムイミントラジオパーク構想推進協議会
 旭川市・鷹栖町・東神楽町・当麻町・比布町・愛別町・上川町・東川町・あさひかわジオパークの会・特定非営利活動法人カムイの大地地域振興支援センター・特定非営利活動法人大雪山自然学校・大雪と石狩の自然を守る会・一般社団法人旭川観光コンベンション協会・旭川商工会議所・一般社団法人大雪山カムイミントラジパークDMO

事務局
 旭川市教育委員会社会教育部社会教育課内
 〒070-8525 旭川市7条通9丁目 旭川市総合庁舎4階
 ☎ : 0166-25-7190



制作協力：株式会社ジオ・ラボ



アイヌ文様を使ったジオショップ

大地の成り立ちを体験するジオツアー

ジオパーク専門員による解説

大雪山の成り立ちを学ぶ講座

ラフティングを取り入れたジオツアー

神居古潭峡谷河川敷での清掃活動

岩石・鉱物や動植物など、自然から奪わず、心に思い出を
 Take only memories, leave only footprints



大雪山がもたらす
 豊かな大地と人々の物語



地球の息づかいと出会う
 悠久の時間が流れる大地の舞台へ

大雪山カムイミントラジオパーク構想は、旭川市・鷹栖町・東神楽町・当麻町・比布町・愛別町・上川町・東川町から構成され、その全域を対象に、日本ジオパーク認定を目指しています。



カムイミントラとはアイヌ語で“神々の遊ぶ庭”とされ、神々への畏敬と感謝をもって自然を敬うアイヌの精神文化を象徴する言葉です。

地域のことをもっと知るには

<p>旭川市博物館</p> <p>〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目 大雪クリスタルホール内 ☎ : 0166-69-2004</p>	<p>旭川市科学館 サイバル</p> <p>〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目 ☎ : 0166-31-3186</p>	<p>川村カ子トアイヌ記念館</p> <p>〒070-0825 旭川市北門町11丁目 ☎ : 0166-51-2461</p>	<p>旭岳ビジターセンター</p> <p>〒071-1472 上川郡東川町旭岳温泉 ☎ : 0166-97-2153</p>	<p>層雲峡ビジターセンター</p> <p>〒078-1701 上川郡上川町層雲峡 ☎ : 01658-9-4400</p>
--	--	--	---	---



※年代は対数表記しています

大雪山 カムイミソトラ ジオパーク構想

大雪山カムイミソトラジオパーク構想は、「大雪山がもたらす豊かな大地と人々の物語」をテーマに、それを紐解く4つのストーリーで構成されています。
現在も火山活動を続ける「大雪山」、火山と河川の働きによって形作られた「上川盆地」、そして、石狩川が作り出した「神居古潭」の峡谷。この地の多様な地質、地形を背景として、水をはじめとする豊富な自然資源が、「アイヌ」の人々の文化や明治以降の開拓の歴史を育んできました。
大地の記憶と、人々が織りなしてきた歴史と文化からなる大雪山カムイミソトラジオパーク構想の4つのストーリーをご紹介します。

上川盆地 Kamikawa Basin



大雪山を源とする豊富な水と大地の恵み



上川盆地は、北海道最大の盆地です。肥沃な土壌や、扇状地のなだらかな地形は稲作に適しており、開拓以降、北海道屈指の米どころとして発展してきました。大雪山の湧水で育まれたこの地は、豊かな実りと地域の歴史を伝えてくれます。

大雪山 Daisetsuzan

火山と多様な自然が生み出す生命の大地



「北海道の屋根」と呼ばれる大雪山系は、火山活動によって誕生した山々です。約3万4千年前の噴火によって御鉢平カルデラ、層雲峡や天人峡の柱状節理が生まれました。永久凍土や周氷河地形がみられるほか、高山植物の宝庫としても知られ、多様な自然が息づいています。



神居古潭 Kamuy Kotan



大地の変動と人々の歴史

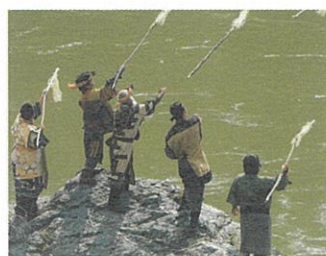


約1億年前のプレート活動によって誕生した神居古潭変成岩が露出し、地球深部のダイナミックな営みを物語っています。石狩川が作り出した峡谷は交通の要衝でもあり、アイヌの人々は丸木舟を使い行き来し、明治以降は鉄道が走るようになりました。

アイヌ Ainu



カムイの大地に息づくアイヌ



先住民族であるアイヌの人々が暮らし、「ベニウクル(川上に住む人)」と呼ばれた上川アイヌの文化が息づいています。自然と調和して生きた彼らにまつわる場所や儀式、魔神伝説や妖刀伝説など、多くの伝承が残されています。

ジオパークの取り組み

ジオパークとは、「地球科学的に重要な場所や景観を、保護・教育・持続可能な開発を含む総合的な視点で管理する、一体となったエリア」(日本ジオパークネットワーク)です。基盤となるのは地質や地形といった地質遺産ですが、それに結びつく動植物などの自然遺産や、歴史的建造物・伝統行事といった文化遺産も含まれます。活動は地域全体で進められ、特に教育では、子どもたちが地域を理解し、愛着を育み、次世代へと受け継いでいくことが重視されています。

日本ジオパークは、ユネスコ世界ジオパークの認定基準に則り日本ジオパーク委員会が審査しており、47地域が認定されています(2025年8月現在)。そのうち10地域はユネスコ世界ジオパークにも認定されています。



つた。其の高地にアイヌ部落があつたのであるが或年オプタテシケの山が大爆
 発すると共に熾んに火を噴き熔岩を飛ばし泥水と共に種々雑多のものを流した
 木といはず石といはず泥の海が一時に押し寄せカムイコタン（カムイは神コタ
 ンは村、即ち神様の居る所の義）の堅い岩石を突き破つて瀬がなくなつたが凸
 凹と突き出て居た山々は此の洪水の爲めにすつかり押し流されて現在のやうな
 廣い平野が出来上つたものである。その時アイヌの先祖達は此の洪水から逃れ
 る爲めに繩で高い處高い處へと逃げ随分死滅したのであるが現在上川に住んで
 居るアイヌ達は此の時生き残つた人々の子孫である。さうして此の時を忘れな
 いやうに又カムイの恩を讀へる心持でオプタテシケアウルケアウルケのウホホ
 を祭祀のある度毎に神前で唱へ續けて來たものである。

(8)

二、神居古潭の傳説

すつと古い昔の事である。其の頃はカムイコタンが石狩川の河口で太古はあれ
 から下流は海であつた。毎日々々帆掛け舟が何隻となく這入つて來ては石狩ア
 イヌの捕らへた熊、鹿、鷹、狐、蛙、鱒と珍らしい器具と交換したものである
 今は石狩川口に住んでゐると傳へられてゐるシヤメカムイ（石狩川に棲息する
 テウザメ）といふ神様が神居古潭停車場附近の深い淵に住んで居たが日のよく
 輝やいた日には美しい背中を水面に出して居たものであつた。此シヤメカムイ
 と山のカムイ（ヨモサク翁は熊の事であると話した）は非常に仲が長く一方は
 水一方は山で上川アイヌの守護神として崇められて居た。秋になつて鮭が捕れ
 るやうになるとアイヌウタリ（アイヌの人々）は自分達の食ふ前に必らず此シ
 ヤメカムイと山のカムイに捧げたものである。石狩川を遡つて來るものは石狩
 アイヌであると必らず筈をたゞいた。これがシヤメカムイに「乃公は石狩アイ

(9)

ヌでシヤメカムイの乾分であるといふ符號であつた。然をたゞかなかつた者が
あるとシヤメカムイが舟を覆へずとか動かなくさせるとかして、どうしてもカ
ムイコタンから中に這入る事が出来なかつた。その神様のお庇護で上川のアイ
ヌウタリは毎日平和な月日を送れたのである。カムイコタンといふのは神居古
潭に神様が居る所といふ意味でカムイは即ちシヤメカムイ山のカムイを指した
ものである。

× × × ×

カムイコタンの吊橋附近に女夫岩と稱せられて居る巖石が流に横はつて居るが
アイヌウタリはニチエネカムイ（鬼又は化物）と言つて居る。ニチエネカムイ
がカムイコタンに来てアイヌ達に魚も捕らせなければ此種族も滅ぼしてしまふ
と荒れ廻つた時にシヤメカムイが現はれて大格闘の末に此ニチエネカムイを殺

(10)

してしまつた。此の戦で多くの地面を流し突き進んで陸を作り現在のやうに石
狩川口迄が陸になつたのである。カムイコタンから下流が海であつたのは事實
で其の證據にオトエ、タドシ附近の貝塚から出るものは全く海の貝類の化石ば
かりである。シヤメカムイに殺されたニチエネカムイは死んであのニチエネカ
ムイ岩となつたものだが、カムイコタンといふのはカムイの居る川口の村とい
ふ意味であると云ふ。

× × × ×

昔シヤメカムイは石狩川の川上で可愛い子供を澤山育てて居たが或年の春に雪
解けの大水が出た。シヤメカムイの子供は次第々々に下流に押し流されて行つ
た。カムイは愛する自分の子供がすん／＼川下へ流れて行くのを見るに忍びな
かつた。其處で川幅の狭いカムイコタンの岩と岩との間に横はつて子供の流れ

(11)

死ぬのを防いだ。その爲に子供達は助かつたが水が堰められた爲めに上流が氾濫して上流地方は一時湖のやうになつて居たものである。

× × × ×

カムイコタンの河中に大きな岩が突き出てゐるがアイヌウタリはこれをエモシケンと呼んで居る。往昔カムイコタンにニチエネカムイといふ鬼神が居た。彼はニチエネなる名の如く狂暴無禮なる鬼神であつたが彼の暴力に依て人類に危害を興へる事が彼の天職であると考へて居た。部落ウタリ達は彼ニチエネを呼んで怪物と云つた位恐れてゐた。或日ニチエネカムイは石狩アイヌの擧殺を企て大岩をカムイコタンの狭流に投下し水を堰き止めて先づ水攻を敢行した。これを眺め見た山のカムイは「いとし我等が子等の餓死なば如何にせん」と自ら立つて崖岩の一部を破壊し通水させてアイヌウタリに便宜を興へた。それと

(12)

見てニチエネカムイは恰も阿修羅王の猛り狂るふが如く山のカムイに挑戦した。彼方にあつてその様子を見てゐた舟番娘オベリは過早く空知なる兄のシヤマイグルに告げた。新しく聞いた兄シヤマイグルは事急なりと見て疾風の如く馳せ來つて山のカムイを後に庇ひニチエネカムイをハツタと睨みつけ威猛高になつて「この悪魔外道今こそ山のカムイに代つて此のシヤマイグルが汝に誅罰を加へるのだ」と堰き止められてあつた崖岩をハツタと足蹴にして取り除けたと思ふとサツト一閃の名劍が彼の右手高く振り擲された。……と同時に強力のニチエネカムイも亦一步一步退つて狂暴の形相物凄くシヤマイグルにチリと追つた。凄慘！ 黙々！ 名光！ 閃小笹のさわめきと静寂なる流に血と劍との狂亂舞は開始せられた一方は鬼一方は豪勇のシヤマイグル。一上一下の大激戦を演じたもので（アイヌのユイカラは非常に形容美句が多く此邊は最も美辭の多い

(13)

所であるが幾分省略してある) 遂にニチエネカムイはシヤマイグルに敵し難く一敵に逃げた。その頃は上川の地殻變動後日も浅く未だ泥土の箇所が多かつたのでニチエネカムイは泥土の中に足を踏み入れてしまった。アツしまつたと叫んだ時にシヤマイグルに一撃を加へられ尙も逃げ續けたが遂にシヤマイグルの爲めに首を刎ねられてしまった。シヤマイグルが後からニチエネカムイを切りつけた時に切つた刃先が此エモシケシにあたつてあの割れ目を作り、ぬかるみへ足を入れた所が一丈餘の鬼の足跡となつて驛邊附近に三四ヶ所残つてゐるのである。そしてニチエネカムイの首は岩となりニチエネシヤバ(鬼の首)となり胴體は立岩ニチエネとなり持つてゐたアゴ(籠)は化石となつてドレツプサルネツプとなつた。ドレツプはうば百合サルネツプはアゴの意である。

(14)

× × × ×

吊り橋の上方に大きな岩があるがあれは太古ニチエネカムイ(鬼神)が石狩アイヌを水攻めにしやうとしてあの岩を狭い川口に持つて來たのを山のカムイが半分支け爪で引掻いて半分通り支け水が通るやうにしたものであるがアイヌはあの岩をシユマンコタンカルと呼んで居る。山のカムイが半分支け通れるやうにしてくれたものゝ矢張アイヌウタリ達が困つて居たのでシヤマイグルといふ人があゝいふ風にしてくれた。シヤマイグルといふのは「非常に力の強い人」といふ意味である。

(15)

× × × ×

カムイコタンから少し旭川に近づいた方向にベンケアシユナイ、ベンケアシユナイといふ所が約百間位離れてあるがベンケとは上の方ベンケとは下の方といふ意味で辨慶が逃げて來た所たといつてゐるが果して本當かどうかは判らない

後で入地したシャモ（和人）が「ベンケといふのは辨慶の事だらう」と憮然して言傳へたものでアイヌが辨慶が來たといつたと云ふのは全くの偽である。此の附近にある岩も古は泥の如く柔らかいもので今のオサラツペ川口附近の大きな岩は大海潮の時に流れて來た鯨が化石になつたものであると、言ひ傳へられて居る。

三、近文附近に絡る傳説

近文はアイヌ語チカツプニ（孔雀の棲んだ山の意）より生れた地名であるが太古非常に美しい夫婦の孔雀が今の近文山に住んで居た。

附近に居住してゐたアイヌ達はこれを神として毎年祀つて居たが何時の頃からか居なくなつた。アイヌは此美しい孔雀を忘れる事が出来ず此附近にチカツプ

ニといふ名をつけた。だから單に近文といふのでなしに近文山と呼ぶ事が不當であるといふ。

× × × ×

オサラツペ川が石狩川に落ち合ふ所即ち今の嵐山と稱せられてゐる附近は其昔樹木が繁茂し奇巖が重疊してゐる人跡稀なる深山であつた。往昔此所に兄弟の鶯が棲んで居た。此の鶯が近文附近を飛翔して小鹿や兎の如き小動物類を捕らへてくるのを丸木舟に棹さして石狩川を上下するアイヌがよく眺めたものである。

「大きな鳥だなあ」といふ鶯の啼が次から次へと傳はつたが段々人々の入地してくるのを恐れたものか鶯は何時の頃からか何處にか飛び去つてしまつた。

アイヌウタリは此鶯が何處かへ飛び去つてしまつてからもその印象を忘れかね

旭川市史 第1巻 534.4

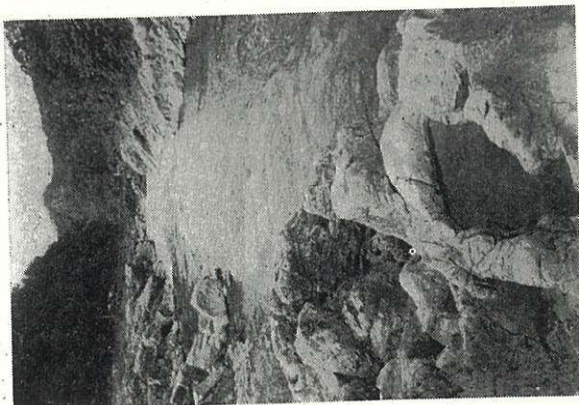
二十、守護神の熊とさめ (神居古潭) 神居古潭の深淵には、今も実際にチヨウさめという珍魚がいるが、昔、晴天の日には美しい背を水面に浮べて日向ぼっこをしていたもの。そしてアイヌはこれをシヤメカムイといつて、ヌプリエロカムイ(山の神)の熊と仲のよい友たちで、一方は水、一方は山の守護神として、アイヌは深く尊敬し、毎年さげやますのお初はますそなえる。それで石狩川を丸木舟でのぼるときも、「おれはお前たちの部下のものだよ」ということをシヤメカムイに告げる意味で舟ばたをたたく。そうすると無事に通過することができるが、たたかないものがあると、舟がくつがえったり、全然動かぬようになる。この神様のおかげで上川や石狩のアイヌは毎日平和な日を送ることができた。これよりカムイ(神)の居るコタン(部落)という意味でカムイコタンというようになる。

二十一、鬼とさめの格闘 (神居古潭) 神居古潭の橋の付近に夫婦岩と云われる大岩石が激流に横たわっている。アイヌはニチエネカモイ(鬼または怪物)という。昔、このニチエネカモイがここに来て、アイヌの漁獲をさまざま、ある時これを亡ぼしてしまおうと荒れ狂ったとき、シヤメカムイが現われて大格闘、とうとうニチエネカモイを殺してしまう。この争いのおかげで多くの土地を流しぐんぐんと陸を作って今のように石狩川の川口までの陸地としてしまった。で、その時まではカムイコタンが川口で、そのききは海であった。そして殺されたニチエネカモイがこのニチエネカモイ岩になったのだと伝える。

二十二、激流に子を救う (神居古潭) 昔、シヤメカムイが石狩川の上流でかわいい子供をたくさん育てていたが、ある年の春、雪どけ水で大洪水になり、シヤメカムイの子どもたちは、次第に下流におし流される。親カムイはこれを見て、川下に走って川幅のせまいところの岩と岩との間に自分の身を横たえて、子供の流れるのをせきとめる。そのため上流地方はいよいよ氾濫して一時湖水のようになったが、子供は皆助かる。そしてこの川幅のせまいところというのが神居古潭であると。

二十三、シヤマイクルと悪神の激闘その一 (神居古潭)

神居古潭の川中にエモシケシと呼ぶ大きい岩が突出している。昔、このコタンにニチエネカモイという凶悪無類の悪神が住んでいて、アイヌを苦しめることが自分の天職であるかのように荒れ狂うので、コタンのものは安らかに眠ることもできぬ。あるときこの悪神が石狩アイヌと上川アイヌを全滅させるため大岩石をその一番せまい所に投げこみ、水をせきとめて溺死させようとたくらむ。これを山頂で見ていたヌプリカムイの熊は、日ごろの自分を神とあがめているかわいいアイヌたち



鬼の足跡 (神居古潭、アイヌの伝説)

だ。救ってやろうと、その岩石の一部を除いて水を流した。ニチエネカモイはおれの邪魔をするかと、阿修羅のように襲いかかる。遠くで眺めていた舟番娘のオペリペリはこれは大変と、幸い、来ている兄のシヤマイクル(英雄神)に急を告げる。疾風のようにせつけたシヤマイクルは、ヌプリカムイを後ろにかばい、ニチエネカムイに叫んだ。

「この悪魔め。ヌプリカムイに代って、このシヤマイクルがお前を征伐してくれる。」

せきとめていた大岩石をけとばし、腰の名剣を抜くより早く振りかざす。一度は一步退いたニチエネカモイもじりじりとせまり、名刀一閃、ここに虚々実々の一騎うちとなる。一上一下の大格闘。だがついに悪神ニチエネカモイの旗色悪く、やがて一方に逃げ出す。逃げたのはよいが、足を深ところに引っかき、しまったと叫んだ時には、早くもシヤマイクルが切り下ろしていた。さてその刀のあたった跡がエモシ(刃)ケシ(跡)でやがてその岩をいようになり、ふみこんだぬかるみが一丈余の鬼のあしあととなって、今ももとの駅通の付近に二、三カ

所残っているという。ニチエネカモイの首が岩となり、ニチエネレヤベ（鬼の首）となり胴体はニチエネ、持っていたかごは化石となってツレップ（うばゆり）サルネップ（かご）となったと。

この岩はまたヌプリカムイが岩を半分だけ爪でひっかいて水の流れるようにしたのを、それでは十分でないというので、シヤマイクルが今のようにしてくれたのだとも伝える。シヤマイクルというのは非常に力の強い人の意味である。

二十四、同 其二（神居古潭と愛別） 昔、神居古潭の駅の裏にあるクトネシリ（今の義経山）という岩山にいた魔神が、神居古潭で石狩川をせき止めて、魚をやらぬようにして上川アイヌを困らせようとたくらみ、春志内のところに岩を集めてやなをかけようと、川をせきとめ始める。これを知った文化神サマイラルカムイの妹の石狩姫が大声で知らせたので、空知川の方に行っていたシヤマイクルと大きな熊とがかけつけ、つくりかけた岩のやなを取りのけて水を通し、さて刀をふりかざして魔神を追いかける。魔神はクトネシリのチャシに逃げこんだので、はげしく追って迫り、チャシの上から力いっぱいけとばす。魔神は石狩川を越えて現在の古潭荘の前の岩に飛んですっぱりとぬかしてしまふ。シヤマイクルはなおも、追ってやっとはい上って逃げるところを切りつける。ところが魔神にあたらずに岩の上に十文字に切りきずを残す。しかし魔神はついに、ペンケアツナイという小川で首を切られ、首は飛んで川向いの鉄道側の川の中に落ち、胴は立ったまま岩になって今のニツネカムイ（魔神）と呼ばれるようになる。なおこの争闘をききつけた海のトド（海鳥）も応援にかけつけたが魔神の作ったやながすでに熊によって除かれていたので、場所が判らずに通りすぎし、どこだどこだと愛別まで行って、力尽き、ここで岩になってしまう。今トド岩と云って愛別橋上手五十歩のあたり、右岸近くの水中にある大岩がそれだという（近文の石山アツマヤシク翁談と更科源蔵著「北海道伝説集」）

シヤマイクルカムイの漁をする小屋が今も伊納の駅の近くに岩になっている。それからウバユリを入れたサル

ネップ（籠）は魔神のものでなく、シヤマイクルカムイのもので、その籠を忘れて行ったのであるといひ、その付近には今もウバユリが多く取れるのだという。（更科源蔵著「北海道伝説集」所収近文の川村ムイサシマツ老女伝）

二十五、同 其三（神居古潭） 昔は神居古潭を舟で運るときにはイナオを流し、海の神のレブンカムイ（鯨）に感謝することになっていた。それは太古、この付近にいた魔神ニツネカムイがここで水をせきとめて魚がのぼらぬようにする。それを知った天塩川の水源の神、山の上に住む熊の一番偉いのが魔神退治に出て来たが、魔神の勢力が強くて今にも熊神の方が負けそうになったので、レブンカムイや水神ワツカウシカムイが川波をしのいでかけつけ、熊神と協力して魔神と闘い、ついに之を殺してしまふ。その時の魔神の足跡も今残っているが、レブンカムイの剣のような背びれの形も岩に残っているのだから、そこを通るたびにイナオを流すのだという。

なおトンネルの所に水神ワツカウシカムイの小屋が岩になって爐ぶちなども残って居り、それにもイナオをあけることになっている。（更科源蔵著「北海道伝説集」所収近文川村ムイサシマツ老女伝）

二十六、舟つなぎ岩（神居古潭） 神居古潭の釣橋の下手、水岸にベンザイドシコテシララという岩がある。昔ここまで海であったので、舟財船が来たときは、ここで船をつないだが、そのともづなを通してしぼる穴だというのが今もある。（更科源蔵著「北海道伝説集」所収石山秋三郎翁伝）

二十七、弁慶（神居古潭） 神居古潭から少し東にペンケアツナイ、それから五十歩ほど下手にペンケアツナイというところがある。今春志内と云っている所であろうか。昔弁慶がここまで落ちのびたので、この名があるとの伝説もあるが、もともとペンケは上流のこと、バンケは下流のことであるから、後に渡って来た和人がペンケをベンケイ（弁慶）と云いなしたものであらう。

二十八、十勝岳の爆發とつなみ（神居古潭） 今の神居古潭に大きな滝があり、高台にアイヌコタンがあった。ある年、オプタテシケヌプリ（十勝岳）が大爆發し、盛んに火を噴き熔岩を飛ばして、大泥流は山つなみ

■魔神の足跡（ニッネカムイ・オ・ラオシマ・イ）、刀痕（エムシケン）



■築柵（テシ）



■魔神の胴体（ニッネカムイ・ネトパケ）、頭（ニッネカムイ・サバ）



■神居古潭ドローン空撮映像 URL

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLVSyfVtiSfnZg-TshedmGu2iS1hvOUksX>